

## 福祉関係

**問 地域包括支援センターについて、平成十八年四月設置後の状況、介護予防事業及び特定高齢者の把握状況はどうか。**

また、医師会など各事業所との連携が不可欠であるが、事業実施に当たり課題などはあるか。

**答** 活動状況につきましては、ケアマネジャー後方支援として主任介護支援専門員が行う総合相談事業では、個人、家族からの高齢者支援事業や介護保険制度についての相談などが百二十四件あるなど、内容も多岐にわたっております。介護予防事業のケアマネジメント事業として要支援者認定件数は一月末で二百八名、給付管理総数は四百八十件、また、特定高齢者の決定者数は、基本健康診査から百十九名を決定いたしました。

当面の課題として、高齢者への虐待、消費者被害などが深刻な問題でございます。地元民生委員や消費生活苦情相談員のご協力をいただき取り組んでおりますが、このような権利擁護などの問題に関し、関係機関と密接なネットワーク体制の整備を早急に検討しなければならないと考えております。

**問 障害者自立支援の軽減措置の具体的な内容は。**

また、市内の方が利用する施設で、激変緩和措置の対象となる施設はあるか。

**答** 国において障害者自立支援法の定着を図るため、平成十九年度、平成二十年度の特別対策として、利用者負担のさらなる軽減、事業者に対する激変緩和措置、新法移行のための緊急的経過措置の軽減策を講じたところです。

通所施設在宅サービス利用者に対する軽減措置は、在宅の方は収入のある家族と同居していることが多く、軽減措置の適用が少ないといった課題や、授産施設など工賃収入のある通所者は、利用料が工賃を上回るといった指摘があり、割負担の上限額の引下げと軽減世帯の拡大を図り、所得に応じて、三段階ある上限がそれぞれ四分の一に引き下げられます。

また、激変緩和措置の対象施設は、知的障害者更生施設、それぞれ一施設が対象になると思われます。

**問 重度重複障害者等ケアホーム運営補助事業について、事業内容・事業所名及び所在地、グルーブホームとの違い、そして行政として促進していく考えはないか。**

**答** 重度重複障害者等ケアホーム運営補助事業は、地域での生活を望む重度重複障害者に対し、生活の場を提供し、日常生活における援助を行う重度重複障害者等ケアホームに対する運営費の一部を助成するものです。

現在、重度重複障害者が生じておられます。現在、重度重複障害者は県内に五カ所ありますが、そのうち二百億円、地域自立・活性化

の一つが旭市にあります。

グループホームとの事業の違いといたしましては、グル

ープホームでは地域で共同生

活を営む方に食事、清掃など

の家事支援や日常生活上の相

談支援を行いますが、ケアホ

ームでは食事や入浴、排泄な

どの介護が受けられます。

市といたしましても、障害

のある方が地域で暮らすため

の施策としてケアホームの充

実は必要であると考えてお

ります。

**問 在宅障害者支援事業について、事業内容・支援対象人**

**支援事業所の財政状況は。**

**答** 在宅障害者支援事業は、養護学校などに通学する障害児を放課後から帰宅時まで預かる団体などに対し、一部助成を市単独により行うものです。

この事業の対象として予定している団体は、八日市場養護

会員は約二十名、指導員一人と有償ボランティアによつて運営されており、収入は利用料と会費です。

事業推進費として、民間活動支援のための事業促進と地域活性化効果を早期に發揮できるよう百五十億円の予算措置がされております。

また、平成十九年度新規事業として、農山漁村地域における定住や都会に暮らすリターンアした団塊世代が週末など一定期間を農山漁村で暮らす二地域居住など、地域の活性化を総合的かつ機動的に支援するため、農山漁村の活性化プロジェクト支援事業を創設、三百四十一億円の予算措置がされました。

いずれにいたしましても、現在、国・県から詳細な情報が流れていますが、今後、情報収集しながら、どのような形で本市に取り入れられるか研究してまいりたいと考えております。

**問 旧野栄町民からは、重要な部分も合併後は本府対応となり、非常に不便を感じると聞いている。総合支所の業務、役割は十分果たせているのか。**

**答** また、総合支所には空きスペースがかなりあるが、どのように有効活用していくのか。

**答** 総合支所の具体的な権限

の一つが旭市にあります。

グループホームとの事業の違いといたしましては、グル

ープホームでは地域で共同生

活を営む方に食事、清掃など

の家事支援や日常生活上の相

談支援を行いますが、ケアホ

ームでは食事や入浴、排泄な

どの介護が受けられます。

市といたしましても、障害

のある方が地域で暮らすため

の施策としてケアホームの充

実は必要であると考えてお

ります。

**問 在宅障害者支援事業について、事業内容・支援対象人**

**支援事業所の財政状況は。**

**答** 在宅障害者支援事業は、養護学校などに通学する障害児を放課後から帰宅時まで預かる団体などに対し、一部助成を市単独により行うものです。

この事業の対象として予定している団体は、八日市場養護

会員は約二十名、指導員一人と有償ボランティアによつて運営されており、収入は利用料と会費です。

事業推進費として、民間活動支援のための事業促進と地域活性化効果を早期に發揮できるよう百五十億円の予算措置がされております。

また、平成十九年度新規事業として、農山漁村地域における定住や都会に暮らすリターンアした団塊世代が週末など一定期間を農山漁村で暮らす二地域居住など、地域の活性化を総合的かつ機動的に支援するため、農山漁村の活性化プロジェクト支援事業を創設、三百四十一億円の予算措置がされました。

いずれにいたしましても、現在、国・県から詳細な情報が流れていますが、今後、情報収集ながら、どのような形で本市に取り入れられるか研究してまいりたいと考えております。

**問 旧野栄町民からは、重要な部分も合併後は本府対応となり、非常に不便を感じると聞いている。総合支所の業務、役割は十分果たせているのか。**

**答** また、総合支所には空きスペースがかなりあるが、どのように有効活用していくのか。

**答** 総合支所の具体的な権限

の一つが旭市にあります。

グループホームとの事業の違いといたしましては、グル

ープホームでは地域で共同生

活を営む方に食事、清掃など

の家事支援や日常生活上の相

談支援を行いますが、ケアホ

ームでは食事や入浴、排泄な

どの介護が受けられます。

市といたしましても、障害

のある方が地域で暮らすため

の施策としてケアホームの充

実は必要であると考えてお

ります。

**問 在宅障害者支援事業について、事業内容・支援対象人**

**支援事業所の財政状況は。**

**答** 在宅障害者支援事業は、養護学校などに通学する障害児を放課後から帰宅時まで預かる団体などに対し、一部助成を市単独により行うものです。

この事業の対象として予定している団体は、八日市場養護

会員は約二十名、指導員一人と有償ボランティアによつて運営されており、収入は利用料と会費です。

事業推進費として、民間活動支援のための事業促進と地域活性化効果を早期に發揮できるよう百五十億円の予算措置がされております。

また、平成十九年度新規事業として、農山漁村地域における定住や都会に暮らすリターンアした団塊世代が週末など一定期間を農山漁村で暮らす二地域居住など、地域の活性化を総合的かつ機動的に支援するため、農山漁村の活性化プロジェクト支援事業を創設、三百四十一億円の予算措置がされました。

いずれにいたしましても、現在、国・県から詳細な情報が流れていますが、今後、情報収集ながら、どのような形で本市に取り入れられるか研究してまいりたいと考えております。

**問 旧野栄町民からは、重要な部分も合併後は本府対応となり、非常に不便を感じると聞いている。総合支所の業務、役割は十分果たせているのか。**

**答** また、総合支所には空きスペースがかなりあるが、どのように有効活用していくのか。

**答** 総合支所の具体的な権限

の一つが旭市にあります。

グループホームとの事業の違いといたしましては、グル

ープホームでは地域で共同生

活を営む方に食事、清掃など

の家事支援や日常生活上の相

談支援を行いますが、ケアホ

ームでは食事や入浴、排泄な

どの介護が受けられます。

市といたしましても、障害

のある方が地域で暮らすため

の施策としてケアホームの充

実は必要であると考えてお

ります。

**問 在宅障害者支援事業について、事業内容・支援対象人**

**支援事業所の財政状況は。**

**答** 在宅障害者支援事業は、養護学校などに通学する障害児を放課後から帰宅時まで預かる団体などに対し、一部助成を市単独により行うものです。

この事業の対象として予定している団体は、八日市場養護

会員は約二十名、指導員一人と有償ボランティアによつて運営されており、収入は利用料と会費です。

事業推進費として、民間活動支援のための事業促進と地域活性化効果を早期に揮発できるよう百五十億円の予算措置がされております。

また、平成十九年度新規事業として、農山漁村地域における定住や都会に暮らすリターンアした団塊世代が週末など一定期間を農山漁村で暮らす二地域居住など、地域の活性化を総合的かつ機動的に支援するため、農山漁村の活性化プロジェクト支援事業を創設、三百四十一億円の予算措置がされました。

いずれにいたしましても、現在、国・県から詳細な情報が流れていますが、今後、情報収集ながら、どのような形で本市に取り入れられるか研究してまいりたいと考えております。

**問 旧野栄町民からは、重要な部分も合併後は本府対応となり、非常に不便を感じると聞いている。総合支所の業務、役割は十分果たせているのか。**

**答** また、総合支所には空きスペースがかなりあるが、どのように有効活用していくのか。

**答** 総合支所の具体的な権限

の一つが旭市にあります。

グループホームとの事業の違いといたしましては、グル

ープホームでは地域で共同生

活を営む方に食事、清掃など

の家事支援や日常生活上の相

談支援を行いますが、ケアホ

ームでは食事や入浴、排泄な

どの介護が受けられます。

市といたしましても、障害

のある方が地域で暮らすため

の施策としてケアホームの充

実は必要であると考えてお

ります。

**問 在宅障害者支援事業について、事業内容・支援対象人**

**支援事業所の財政状況は。**

**答** 在宅障害者支援事業は、養護学校などに通学する障害児を放課後から帰宅時まで預かる団体などに対し、一部助成を市単独により行うものです。

この事業の対象として予定している団体は、八日市場養護

会員は約二十名、指導員一人と有償ボランティアによつて運営されており、収入は利用料と会費です。

事業推進費として、民間活動支援のための事業促進と地域活性化効果を早期に揮発できるよう百五十億円の予算措置がされております。

また、平成十九年度新規事業として、農山漁村地域における定住や都会に暮らすリターンアした団塊世代が週末など一定期間を農山漁村で暮らす二地域居住など、地域の活性化を総合的かつ機動的に支援するため、農山漁村の活性化プロジェクト支援事業を創設、三百四十一億円の予算措置がされました。

いずれにいたしましても、現在、国・県から詳細な情報が流れていますが、今後、情報収集